



和こだより

弟子屈町立和琴小学校

7月25日 発行者 校長 大山道弘

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



子どもの可能性を引き出す

校長 大山 道弘

1年で最も暑い季節となりました。真っ白な入道雲と青空のコントラストは、この時期ならではの楽しみのひとつです。

保護者の皆様は、お子さんに「何のために学習するの?」と問われたら、どのように答えていますか。その答えにはきっと保護者の方の願いが込められていて、ご家庭の数だけ正解があります。

今から15年ほど前に、家庭訪問で保護者の方が仰っていたことを紹介します。保護者の方は、お子さんの将来について、「仕事に善し悪しはないのでどんな仕事に就いても良い。ただし、その仕事を、たくさんの選択肢から選んで決めることができる人になってほしい。決してその仕事しか選べない人になってほしくない。そのために学習することの大切さを教え、家庭での学習習慣をつけるようにしている。」という内容のことを話してくださいました。

もちろんここでいう学習とは、国語・算数・理科・社会などの教科だけではなく、学校での学習全般のことです。子どもの将来のことを考え、可能性を引き出すという大切なことを伺い、学校でもそのような教育を進めていく必要性を感じました。

令和3年1月に中央教育審議会答申でも『令和の日本型教育』の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現～が公表されました。答申では「子ども自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していく」ことが求められています。

このことは、「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に習得した上で、「思考力・判断力・表現力」や、「自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度」を育成するということです。

明日から夏休みです。子ども達が自ら学習に取り組む期間です。夏休みのドリルは「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に習得するための取り組みになります。「思考力・判断力・表現力」や、「自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度」を育成するのは、自由研究・作品制作や、自主学習、お手伝い、少年団活動・習い事、イベントへの参加などです。子どもが自分で内容を考え、計画的にかつ継続的に学びに向かう姿を育てることにつながります。

夏休みは時間がたくさんあります。普段できないようなことに取り組み、お子さんの可能性を引き出す機会になるよう、お願いいたします。

< 8月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	火	夏季休業 (～8/21)		
2	水			
3	木	図書館バス		
4	金			
5	土	週休日		
6	日	週休日 町民水泳大会		
7	月			
8	火			
9	水			
10	木			
11	金	山の日		
12	土	週休日		
13	日	週休日		
14	月	学校閉庁日		
15	火	学校閉庁日		
16	水	学校閉庁日		
17	木	図書館バス		
18	金			
19	土	週休日		
20	日	週休日		
21	月	安全点検日		
22	火	2学期始業式	12:15	×
23	水	水泳授業 読み聞かせ	14:00	○
24	木	チャレンジ夏休み	14:00 14:55	○
25	金	ALT 秋の校外清掃 クラブ	14:00 15:15	○
26	土	週休日		×
27	日	週休日		×
28	月		14:00 14:55	○
29	火	ALT	14:00 14:55	○
30	水		14:00	○
31	木	水泳授業 図書館バス	14:00 14:55	○

学校閉庁日

弟子屈町では、学校における働き方改革『北海道アクション・プラン』に基づき、今年度も、8/14、15、16の3日間を【学校閉庁日】とすることにしました。

ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【緊急連絡先】

弟子屈町教育委員会

015-482-2945

7月の和小っ子

■学校経営・教育指導、移動教育委員会

6月23日(金)に釧路教育局の義務教育指導監を、29日(木)には同教育局の指導主事をお招きしました。すべての学級の授業の様子をご覧いただき、本校の学校運営や授業についてご指導いただきました。



また、28日(水)には町の教育委員会が本校を会場として開催されました。PTA役員も参加しての教育懇談会もあり、学校や地域について貴重なお話やご意見を聞かせていただきました。



皆様からいただいたご指導・ご意見を、本校のこれからの学校改善に生かしてまいります。

■ふるさと遠足

6月30日(金)にふるさと遠足を行いました。今年は、和琴フィールドハウスの斎藤敬子さんにガイドをお願いし、和琴半島を散策しました。途中、半島の自然や生き物のことをたくさん教えていただきながら、およそ2時間の道のりを全員が歩き切りました。



散策の後は、お弁当やおやつを食べ、ザリガニ釣りなどをして、楽しい時間を過ごしました。



天気は快晴とまではいきませんが、雨にあたることもなく満足のゆく遠足になりました。ガイドしてくださった斎藤さん、本当にありがとうございました。

■バスケットボール寄贈

北海道のバスケットボールチーム「レバンガ北海道」では、社会貢献活動の一つとして、道内小学校へのバスケットボール寄贈を行っ



ています。

7月6日(木)にチーム広報担当の平澤さんが来校し、子どもたちにバスケットボール5個をプレゼントしてくれました。

いただいたボール、大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

■参観日・学級懇談会

7月7日(金)に、参観日と学級懇談会を行いました。低学年と高学年は国語、中学年は外国語活動の授業の様子をご覧いただきました。



また、学級懇談会では、学校や家庭での子どもたちの様子について、担任と保護者の皆様とで交流することができました。

保護者の皆様、お忙しい中ご参加いただき大変ありがとうございました。

■夏のふるさと体験学習

7月15日(土)に、夏のふるさと体験学習を行いました。この学習は、友だちや地域の人々と共に体験活動



に親しみ、自然豊かな弟子屈町や屈斜路地域のよさに気づくことをねらいとしています。今年度は、中山間地域等直接支払制度による共同活動の補助事業を利用し、渡辺体験牧場で酪農体験をしてきました。



体験内容は、牛乳と生クリームを使ってのバター作り、搾乳、牛乳の試飲、トラクターに引かれながらの牧場内周遊、牛の餌やりでした。

また、酪農に関する子どもたちの質問にも、一つ一つ丁寧に答えていただきました。

雄大な自然を満喫し、地域の素晴らしさを体感した一日でした。この貴重な体験を、これからの学習に生かしていきます。ご協力いただいた渡辺体験牧場のスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

秋の校外清掃

8月25日(金)に、秋の校外清掃を行います。保護者の方も時間がありましたら、ぜひ参加していただくとありがたいです。なお、雨天の場合は9月4日(月)に行います。